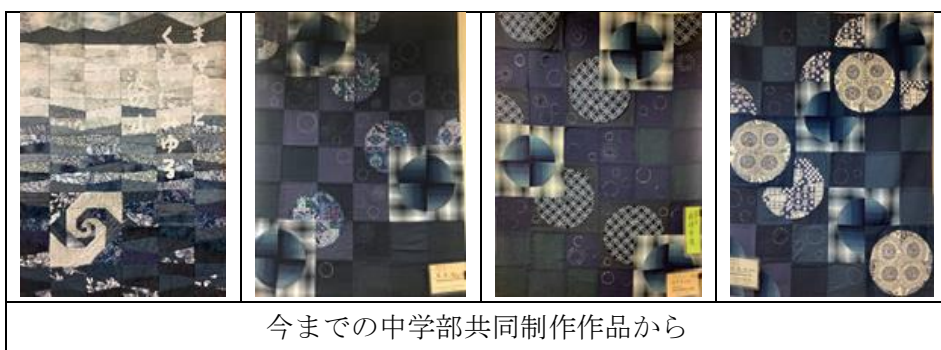


## 中学部の作業学習(パッチワークキルト)を紹介します。

中学部では6人の生徒が作業学習としてパッチワークキルトに取り組んでいます。制作作品は、コースターやマスクケース、布バッグ等です。今は、タブレット端末を入れる袋の制作に取り組んでいます。作品を学校祭で地域の皆様に披露することが生徒のやりがいでしたが新型コロナウイルス感染症対策で今年度も学校祭は中止です。非常に残念です。



タペストリーを毎年、共同制作しています。完成時には縦 120cm 横 80cm 程になります。



指導してくださるのは、本校ボランティア講師歴 15 年以上の内藤久子先生です。教員とともに生徒一人一人に合わせて工夫しながら指導してくださっています。

内藤先生のこだわりは徳島ならではの布「しじら」をつかうことです。感性豊かな時期に「しじら」を実際に手にとり、その感触を体感してほしいとのことでした。作品からは、「しじら」のもつ質感や色合いをとおして、作品作りを楽しむ生徒の姿や達成感が静かに伝わってくるようです。「今学習していることが、将来の生活に役に立って、ちょっとかがりものができたりとか、創作の楽しさや喜びが生涯学習に繋がったりしたらうれしいです。パッチワークキルトをとおして、中学部3年間の一人一人の成長が実感できることは本当にうれしい。私の喜びです。」とおっしゃっていました。ありがとうございます。

コロナ禍が収束し、児童生徒の活動や作品を地域の皆様に見ただけの時間が早く来るよう願うばかりです。